



## ◆ 平成 23 年度気象庁関係予算決定概要について

### I. 平成 23 年度気象庁関係予算の概要

#### 予算総括表

(単位：百万円)

区 分		23 年度予算額 計 (A) うち特別枠		前年度 予算額 (B)	対前年度 比較増減 (A) - (B)	倍率 (A) / (B)
一 般 会 計	物件費	23,975	818	25,945	△1,970	0.92
	主要施策	8,221	818	9,123	△ 902	0.90
	地震・津波対策の強化	341	341	517	△ 177	0.66
	台風・集中豪雨等への 対応の強化	1,067	478	1,060	7	1.01
	静止地球環境観測衛星 の整備	6,814	0	7,546	△ 732	0.90
	人件費	35,060	0	36,044	△ 985	0.97
合 計	59,035	818	61,989	△2,954	0.95	

(注) 端数処理のため計算が合わない場合がある。

(参考) この他、特別枠として要望した事項の一部 929 百万円(地震・津波・火山対策の強化：650 百万円、台風・集中豪雨等への対応の強化：279 百万円)については、平成 22 年度経済危機対応・地域活性化予備費により措置した。

### II. 主要事項

#### 1. 地震・津波対策の強化 … 341 百万円

##### ①津波警報の改善 (96 百万円)

チリ地震津波を踏まえ、津波の評価・解析体制を強化し、津波警報等の精度を向上。

##### ②首都直下地震、東南海地震等に対する緊急地震速報の高度化 (74 百万円)

他機関の大深度地震計、海底地震計観測データを活用し、緊急地震速報を高度化。

##### ③長周期地震動情報の提供 (11 百万円)

「震度」とは別に、高層ビル等に被害を及ぼす「長周期地震動に関する情報」を新たに提供

##### ④地震観測データ収集ネットワークの切替え等 (160 百万円)

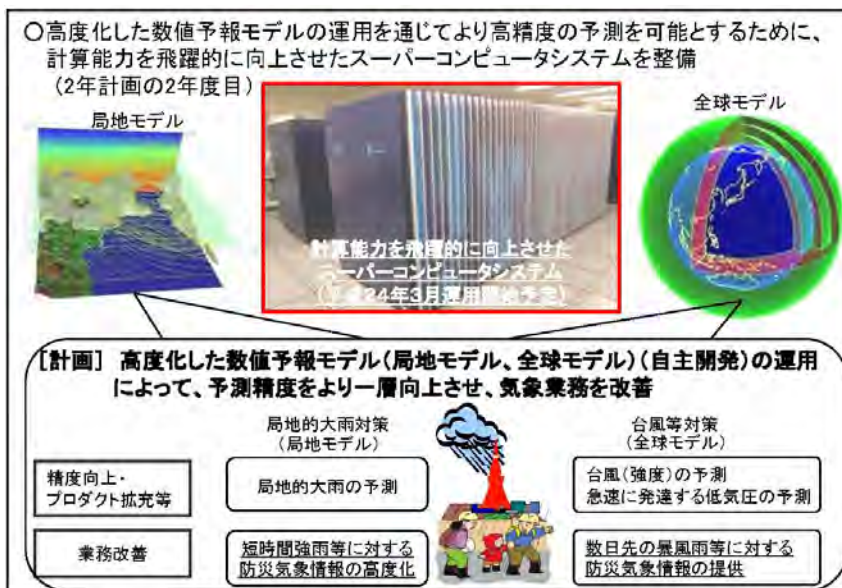
#### 2. 台風・集中豪雨等への対応の強化 … 1,067 百万円

##### ①気象レーダー観測処理システムの更新・強化 (372 百万円)

##### ②天気図解析システムの更新・強化 (105 百万円)

##### ③次世代予報スーパーコンピュータシステムの整備 (318 百万円)

##### ④地上気象観測装置の更新 (272 百万円)



### 3. 静止地球環境観測衛星の整備 … 6,814 百万円

国民の安心・安全に寄与する防災情報の作成及び地球環境の監視に欠かせない静止地球環境観測衛星を平成 26・28 年度に打ち上げるための整備を着実に推進。PFI 方式による運用<sup>※</sup>を実施。

※PFI 方式による衛星の運用…民間事業者（気象衛星ひまわり運用事業株式会社）が既存のノウハウを活用して衛星を運用し、気象庁は当該事業者から安定的に観測データを取得し気象業務を行う。

#### 《参考》平成 22 年度経済危機対応・地域活性化予備費による措置

…平成 23 年度予算概算要求において特別枠として要望した事項のうち、以下については、平成 22 年度経済危機対応・地域活性化予備費(H22.9.24 閣議決定)により措置。

#### ○ 地震・津波等の観測・監視の基盤整備 … 929 百万円

老朽化した観測機器を更新するとともに、大きな津波を引き起こす超長周期地震（津波地震）の観測体制を整備し、安定した防災情報の提供を図る。

(気象庁ホームページから)